

「創造」

黒木中だより 第11号

令和4年1月25日



八女市立黒木中学校

八女市黒木町北木屋60

☎ 0943-42-0109

編集責任者 山口 繁喜

今月は小寒、大寒と寒い日が続き、2月に立春と春がやってきます。小寒、大寒、立春は、二十四節気（にじゅうしせっき）の季節を表す言葉として用いられています。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたものです。春分、夏至、冬至もその一つです。季節の移り変わりの目安となるものに雑節（ざっせつ）と呼ばれるものがあり、節分、彼岸、八十八夜がこれに当たります。暦の中のこれらの言葉からも季節を楽しんでみましょう。天気予報でよくこれらの言葉は紹介されますので、ぜひ、調べてみてください。

### 3年生クラスマッチ

12月15日に、バスケットボール大会を行いました。各クラス女子2チーム、男子2チームに別れ、クラス対抗戦で競いました。8分ハーフの2試合、みんなコート内を走り回り、額に汗をにじませ笑顔がこぼれていました。中学校の思い出の一つとなりました。



### 黒木中ありがとうプロジェクト2021

毎年、生徒が感謝しているものについて、ショートメッセージを書くことで、自分の日頃の生活を振り返り、改めて感謝する気持ちを持たせ、自尊感情の高揚につなげようと取り組んでいます。およそ140文字の短い文章にまとめ、人、自然、宝物、思い出などに感謝の気持ちを贈ります。

給食の時間に放送で、選出した各クラス6名ずつ作品を発表しました。また、RKBラジオ「ありがとう～こどもたちの世界一短い感謝状～」に応募もし、3名の作品が採用され放送されました。感謝する相手は、家族、友達、部活の仲間、ペット、ゲーム、消しゴムなど様々でした。心が温まりました。「ありがとう！」

## 3年生からのサプライズ

12月24日に、冬休み前の集会を開きました。集会の最後に突然、3年生による学年合唱「HEIWAの鐘」の披露がありました。学年合唱を本年度は合唱発表会では実施できなかったため、黒木中学校の歌声にはこんな伝統もあるという思いを伝えようと、学年で密かに準備していました。下級生たちにとって、学年合唱と先輩たちの思いを肌で感じる機会となりました。素敵なクリスマスプレゼントでした。3年生に感謝です。



## 新年揮毫会

1月14日に揮毫会を行いました。課題は右の通りです。5限目に練習、6限目に清書と2時間気持ちを静め、集中して丁寧に書き上げていました。その作品は、八女市中教研国語部会で審査され、本校からは35点入賞し、筑後地区へ出品されました。



### 新年揮毫会入賞者

<1年生>

<2年生>

<3年生>

### ☆ 保護者の皆さまへ ☆

年が明け、新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染が拡大し日々心配されます。その真っ只中、3年生の入試が1/18からスタートしました。3/8.9の公立高校一般入試まで、緊張した日々が続きます。職員一同、最後まで気を引き締めて取り組んで参ります。

2年生の修学旅行は、3/13～15へと再延期し、行き先も関西方面から南九州へと変更しました。予約の関係で、日曜日出発となりご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。